

# 伴野豊の絆レポート



## 伴野豊の活動報告

皆さん!こんにちは、伴野豊です。コスモスの季節ですね。私の地元知多半島でもあちらこちらでコスモスが咲き乱れています。花言葉は「乙女の真心」。「真心」は人を感動させ、人を動かし、人を人たらしめます。伴野豊も「真心」込めて地域をコツコツ歩いて訪問して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、この半年間の訪問の記録を「バンちゃんFootWorks」としてまとめ、この10月1日よりサイトにアップしました。どうぞ、ご覧ください!

## 伴野豊の気になる国土交通政策

今回は、残念ですが、JR 北海道の件について、お話しします。

- 国土交通省は、9月19日に発生したJR 貨物函館線における列車脱線事故の発生を受け、北海道運輸局は職員2名を、運輸安全委員会は鉄道事故調査官2名を現地に派遣し、調査を実施しました。また、軌道の保守管理に係る緊急点検を行うよう、9月21日付でJR 北海道に対して指示しました。さらに、9月21日から27日の間、JR 北海道に対する特別保安監査をJR 北海道本社(直轄管内含む)及び全支社を監査対象として実施しました。
- 国土交通省は、10月4日保安監査の結果によりJR 北海道に対し当面の改善指示として、以下四項目を出しました。
  - ①安全総括管理者(鉄道事業本部長)の業務体制の改善
  - ②軌道部門の保守管理体制の構築
  - ③軌道部門以外の部門の業務体制の改善の検討
  - ④毎日の安全確認

### 3. 報道等からの情報として

国土交通省は、9月25日国交大臣をトップとする幹部会議を設置し、大臣からは「問題点をすべて洗い出し、徹底的、抜本的な対策を講じるよう努めたい。JR 北海道が血のにじむような努力をすることはもちろん、関係者がさらに結束して取り組んでほしい」と述べました。27日までの特別保安監査では野島社長ら経営幹部からも聴取し、10月4日に当面の改善指示が出ました。指示の内容は、一言で言えば、「意思疎通と日々の安全確認」という四項目。当たり前の内容過ぎて、何を今さらという感じです。

国交省幹部は「JR 北海道の言っていることは何が本当でどこまで信用できるのか」「会社のガバナンスに問題があるのではないかと語り、事業改善命令を出す見通しです。様々な要因が複雑に絡んでいるものの、「労働組合の民主化」を忘れてきたツケが一気に吹き出たことは否めません。

## 伴野豊の気になる本



今回の伴野豊の気になる本は、半藤一利著「昭和史」です。日本人はなぜ戦争を繰り返したのか。すべての大事件の前には必ず小事件が起こるもの。事件を事故と置き換えても通じます。①国民的熱狂の危うさはじめ、②最大の危機において抽象的な観念論を好むこと、③小集団エリート主義、④国際社会の常識の無理解、⑤対症療法的短兵急な発想。これら五つの日本人への教訓は、現在もなお生きています。日本のどの組織でも起こりそうな話しばかり。同じ過ちを繰り返さないためにも。もうそろそろ我が国は、キチンと「昭和史」を教えるべきです。今こそ読むべき一冊です。

平凡社ライブラリー(定価: 本体900円+税別)



**ば** ばんの豊 フェイスブック 検索

伴野豊事務所 半田市青山2-19-8

TEL: 0569-25-1888

FAX: 0569-25-1881

E-mail: office@bannoyutaka.jp

HP: bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区: 半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

